

## 台湾の落葉果実事情(リンゴ)

[米国農務省GAINレポート 2024年10月25日](#)

これは米国農務省海外農業局台北事務所(台湾)が作成した「落葉果実年次報告書」を翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

### 概要

台湾は年間13万5千トン以上のリンゴを輸入しており、国内産の供給量は1%未満である。当事務所は、台湾の2024/25年度のリンゴの国内産供給量は横ばいの1,250トンで推移し、輸入量は14万5千トンに回復すると予想する。米国とニュージーランドが主要な供給国であり、日本とチリがそれに続く。2023/24年度に米国は46%の市場シェア(6万4,694トン)を獲得したが、これは主に南アフリカからの輸出がリンゴの害虫の検疫問題で一時的に停止されたことによる。また、米国産リンゴは依然として価格競争力がある。

### 生産

2023/24年度には、1ヘクタール当たりの平均収量の低下により、リンゴの生産量は以前の予想よりもさらに減少したと見られる。主要産地である台中市の平均収量は、主に高温と干ばつにより20%減少し、総生産量は1,189トンとなった。2024/25年度は、主に2024年に重大な自然災害(大雨、台風、干ばつ等)の発生がなく収量がわずかに回復することから、約1,250トンと予測される。

台湾のリンゴの栽培面積全体は過去2年間180ヘクタールで横ばいであるが、一般的な傾向は、総栽培面積が安定するか徐々に減少すると予想されることを示している。高地の山岳地帯で収益性の高い野菜(キャベツ)や茶などの作物は、栽培面積をめぐって引き続きリンゴと競合している。台湾は日本からナシの穂木(接ぎ木用)を輸入しているため、より標高の低い土地でアジア系のナシを栽培することができる。しかし、リンゴはこの方法を採用していないため、品種の更新が制限されている。台湾での温帯果実の栽培は、気候変動の下での栽培適地の移動によりますます困難になっている。平均気温の上昇に伴い、台湾産リンゴの予想収穫量は7トン/ヘクタール前後で推移する可能性がある。



図1: 武嶺農場のリンゴ畑(2024年5月、台中市) 写真提供: 執筆者

### 消費と貿易

台湾農業部の農業統計年鑑2023によると、台湾の一人当たりの平均果実消費量は年間115kg、全国の果実総消費量は約270万トンで、そのうち約20%が輸入で賄われている。リンゴは台湾で最も多く輸入されている果実である。TDM(Trade Data Monitor)のデータによると、台湾は年間少なくとも13万5千トンのリンゴを輸入している。2023暦年のリンゴの輸入量は13万7,330トンで、果実の総輸入量の50%以上を占めている。その他の主要な輸入果実は、キウイフルーツ、ブドウ、オレンジ、サクランボ、ナシ(主にアジア系のナシ)、モモ・ネクタリン(主にネクタリン)等で、それぞれ年間1万トンを超える輸入量がある。

米国は台湾への最大の果実供給国であり、2023暦年には9万トン以上の果実を台湾に輸出しており、そのうちリンゴの輸出量が全体の約60%を占め、ブドウ、オレンジ、サクランボ等の他の果実の輸出量を大きく上回っている。

[注: 上記の果実輸入量には暦年を使用した。以下のリンゴ貿易量には年度(7月～6月)を使用する。]

2023/24年度の台湾のリンゴ輸入量は13万7,727トンであった。米国は南アフリカと日本から市場シェアを取り戻し、米国のリンゴ輸出量は6万4,694トンに達して市場シェアの46%を占めた。この変化は主に、南アフリカ産のリンゴから2023年5月に害虫(蛾)が発見されたことによるものであり、台湾への輸入が一時的に停止され、2024年5月によりややく輸入が再開された。2023/24年度には、南アフリカ産のリンゴの供給はほぼゼロであり、米国がこの供給不足を埋めた。

訳注: 報道(ASIAFRUIT 2024年10月30日)によると、南アフリカ産リンゴの台湾への輸入はコドリンガの検出に伴い2024年10月24日に再び停止されました。

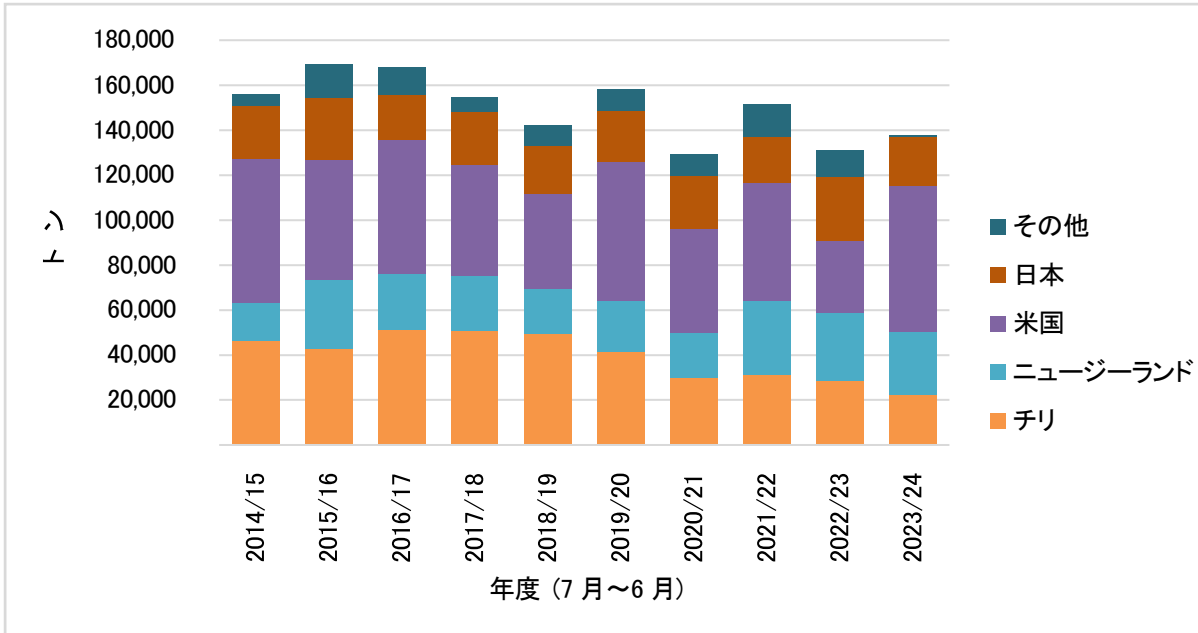


図2 台湾の世界からのリンゴ輸入量

当事務所は、2024年のリンゴの輸入量は14万5千トンに達する可能性があると予想する。台湾には多種多様な果実があり、リンゴは過去10年間で輸入量がわずかに減少したものの、依然として台湾の日常生活で重要な果実である。リンゴは通常、スーパーマーケットの棚の最初の列に並んでいる。例えば、10月には、米国、ニュージーランド、日本のリンゴが同時に販売され、消費者が選ぶことができるのが一般的である。



図3: カルフルのリンゴ売り場の陳列の様子(2024年10月) 写真提供: 執筆者

表1 台湾の世界からのリンゴ輸入

輸入額(千米ドル)	2021/22	2022/23	2023/24	2023/24 シェア	2022→2023 変動率
世界	260,238	247,977	244,770		-1%
米国	73,480	48,781	92,664	38%	90%
ニュージーランド	72,052	68,184	64,267	26%	-6%
日本	59,855	79,716	57,493	23%	-28%
チリ	39,904	37,648	29,396	12%	-22%
南アフリカ	12,461	9,681	20	0%	-100%

輸入量(トン)	2021/22	2022/23	2023/24	2023/24 シェア	2022→2023 変動率
世界	151,260	131,253	137,726		5%
米国	52,562	31,996	64,693	47%	102%
ニュージーランド	32,671	29,872	28,077	20%	-6%
日本	20,257	28,601	22,050	16%	-23%
チリ	31,405	28,892	22,256	16%	-23%
南アフリカ	13,097	9,794	22	0%	-100%

出典: TDM

### 価格

米国とニュージーランドは、異なる季節の主要リンゴ供給国である。米国産のリンゴは輸入価格ではより優位性を維持しているが、その小売価格はニュージーランド産のリンゴにかなり近い。新シーズンの初めには、新品種のコズミッククリスピの価格が高い(1玉当たり45~50台湾ドル)が、シーズンの終わりに近づくと、価格は同29台湾ドルに下がることもある。日本産のリンゴは、チェーン店のスーパーマーケットの在庫が大量に積み上がるまでは、その価格が米国産のリンゴの2~3倍になることもあり、現在市場に出回っている高価なリンゴの1つとなっている。

	米国	ニュージーランド	日本	チリ	南アフリカ
CIF価格(米ドル/kg) <sup>#</sup>	1.4	2.2	2.6	1.3	0.9
小売価格 (スーパーマーケット)	20-25NTD/ふじ 200g 当たり*	20-25NTD/ふじ 200g 当たり*	55-59NTD/トキ <sup>@</sup> 1玉当たり	該当なし	

# TDMによるCIF単価

\* [https://price.ndc.gov.tw/p/zh\\_tw/index](https://price.ndc.gov.tw/p/zh_tw/index) による価格

@ カルフルスーパーマーケットにおける価格

注: 1米ドル=32NTD(2024年10月)

### 政策

輸入関税: (HS 080810/生鮮リンゴ)

2013年から経済連携協定(ANZTEC)の下で免税アクセスがあるニュージーランドを除き、台湾への主要なリンゴ輸出国のほとんどは20%の関税が課される。

#### 台湾の輸出国別リンゴ関税

輸出国	関税率
米国、チリ、日本、南アフリカ	20%
ニュージーランド	0%



### 輸入植物検疫規則:

生鮮食品はTFDA(台湾衛生福利部食品藥物管理署)及びAPHIA(農業部動植物防疫検疫所)によって規制されている。米国産の生鮮リンゴはAPHIAの「[米国からの生鮮リンゴの輸入に関する検疫要件](#)」(2024年7月31日版)によって規制され、APHIS(米国農務省動植物検疫局)発行の植物検疫証明書(様式PPQ 577)を添付する必要がある。

植物検疫証明書は、任命されたAPHIS職員またはAPHISが認可した州及び郡の当局によって発行される。米国産の生鮮果実の出荷に関するその他の植物検疫証明書は、台湾の植物衛生規制当局によって受け入れられなくなった。第5.6条に従い、検疫要件の病害虫リストが変更された場合、更新されたリストは台湾当局の[ウェブサイト](#)で確認できる。

TFDAは、国境検査を担当する所轄官庁である。台湾では、「食品中の残留農薬基準」によるポジティブリスト制を採用している。最新版(2024年3月29日更新)は[こちら](#)(または[統合サイト](#))を参照されたい。重金属の基準は、TFDAの「[食品中の汚染物質及び毒素に関する衛生基準](#)」に記載されている。

### 台湾のリンゴ(生鮮)の生産需給統計

リンゴ(生鮮) 販売年度の始まり 台湾	2022/2023		2023/24		2024/25	
	2022年7月		2023年7月		2024年7月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	181	181	176	180	0	179
収穫面積(ヘクタール)	181	180	176	180	0	179
結果樹本数(1000本)	64	64	62	64	0	64
未結果樹本数(1000本)	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計(1000本)	64	64	62	64	0	64
商業的生産量(トン)	1,406	1,406	1,350	1,189	0	1,250
非商業的生産量(トン)	0	0	0	0	0	0
生産量合計(トン)	1,406	1,406	1,350	1,189	0	1,250
輸入量(トン)	131,300	131,253	155,000	137,727	0	145,000
総供給量(トン)	132,706	132,659	156,350	138,916	0	146,250
国内消費量(トン)	132,706	132,659	156,350	138,916	0	146,250
輸出量(トン)	0	0	0	0	0	0
市場からの隔離(トン)	0	0	0	0	0	0
総仕向け量(トン)	132,706	132,659	156,350	138,916	0	146,250

公式データは [PSD Online Advanced Query](#) からアクセスできる。